

科目	通信工学I (Telecommunication Engineering I)		
担当教員	芝田 道 非常勤講師		
対象学年等	電気工学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	A4-E3(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	無線電話，衛星通信装置，各種レーダーの原理，構造，機能，取り扱い方法について解説する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-E3】無線電話装置の構成，簡単な取り扱い方法を理解している。		無線電話装置の構成や取り扱い方法を理解しているか中間試験で60%正解を合格として評価する。
2	【A4-E3】FM送受信機の構成，原理を理解している。		FM送受信機の構成，原理を理解しているか中間試験で60%正解を合格として評価する。
3	【A4-E3】衛星通信装置の構成，ハブ局の概略がわかる。		衛星通信装置の構成，ハブ局の概略を理解しているか定期試験で60%正解を合格として評価する。
4	【A4-E3】レーダーの種類，原理を理解している。		レーダーの種類，原理を知っているか定期試験で60%正解を合格として評価する。
5	【A4-E3】レーダーの構成，補助回路を理解している。		レーダーの構成，補助回路を知っているか定期試験で60%正解を合格として評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は，試験80% レポート20% として評価する。到達目標1，2，3，4，5の試験の平均の80%，到達目標1，2，3，4，5のレポート20%で評価する。なお，試験成績は，中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「無線工学」：(電気通信振興会) プリント		
参考書	「無線従事者国家試験問題解答集 特技」：(無線通信振興会) 「電波がわかる本」：後藤尚久著(オーム社) 「アンテナがわかる本」：後藤尚久著(オーム社)		
関連科目	電子回路I，電子回路II		
履修上の注意事項	通信工学を学習するにあたり，数学，物理，電気磁気学をはじめその他多くの専門基礎の理解が必要です。		

